

月曜新聞

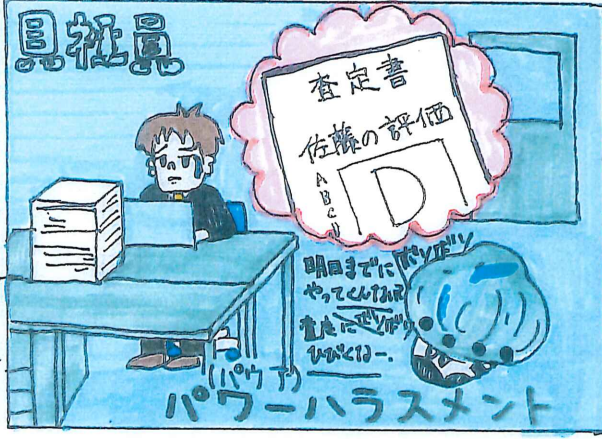
今日は何の日?
勤労感謝の日:
「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」ことを趣旨としている。

過労死を考える

働き方改革がなされている
今なおなくなることはない過
労死。自身の両親への労働に
関するインタビューや振川さん
の過労自殺の実例を用いた弁
護士・川人博とのトークセシ
ョンで生徒が考えたこととは。

働き方改革に伴う問題点

二〇一九年二月二十六日、東
京大学大学院副学長に於いて、川人
博と『過労死とパワーハラ』を考
えるトークセッションが行わ
れた。まず、導入での働き方改
革の実態について、川人さんは
会社外での仕事量の増加を指
摘する。会社で労働時間を制限
する方針がとられたとしても
一人当たりの仕事量は変わら
ないため、結果的に負担は大き



くなる。本当の働き方改革はサ
ービスの退化の後にあるのだら
うと考える。宅配業者を例に考
えると、料金の更なる値上げ、配
達の延長、不在のペナルティーな
どを指す。労働環境の現状につ
いて、仕事量だけでなく上司の
パワーハラも問題に挙げる。ま
りダーシップとハラスメン
トの線引きは曖昧で、中間部分
も存在するが、叱る際に絶対に
やってはいけない四つの点を
川人さんが挙げる。人格を責め
ない・アローする・他人と比
較しない・長時間怒らない。加
害者にならなければならないこ
とがなければならぬ。加害者
だ。仕事の改善を目的とした
事業を指摘するところまでか
叱るという行為で、それ以上の
言葉は話さずという行為に含ま
れると考える。このことを意識
できていない上司が今の日本
に何人いるのだろうか。このト
ークセッションこそがパワーハ
ラを、過労自殺を食い止めるこ
とができる一歩かもしれない。
二〇一九年四月より、働き方
改革関連法が施行される。労働
務法の趣意は期待できるもの
の、実質的な一人当たりの負担
の軽減がどこまで進むかが重
要視したい点である。

逃げ道を作る重要性



七月下旬、労働に関するイ
ンタビューに答えてくれた私
の母に、三月上旬再び話を聞か
す。「仕事を辞めたい」、「生きる
のに疲れた」と言っていた父に
対して「無理して会社に行か
なくてもいいよ。どうにかなるか
ら」と言った意図とは何であ
うか。
「仕事をし続けて家庭に戻っ
ても心休めないようであれば、
それは家族にとって不幸せ。働
いているのはもう父親だけで
はないことだし、どっちが皆の
幸せか、って考えたら、どうい
う決断もありかねない
思った」。

働く人を救うのは家族です。

「もし本当に仕事を辞めると
いう決断をした場合、子ども三
人を養うためのこれからのプ
ランはありましたか。
「明確な将来のイメージはな
かったけど、今は給料を考
えれば仕事はあるし、その分生
活の質を落とすとしても幸せだし
ね。」
このインタビューを通して、
過労死を防ぐ最後の砦はやはり
家族だと感じる。会社を辞め
る選択が存在しないという考
えに陥る原因も家族にあるわけ
だが、同時に家族の言葉は同僚
や友人の言葉をほらに超える
ほどの大きな影響力があると言
える。自ら生命を絶つことしか
考えられないほど追い詰められ
た人の心はもう壊れていて、ど
んな言葉をかけても自己救済に
つながらず病んでいるのだと
いう人がいる。確かにそうかも
しれないが、それだけならさら
精神的に余裕がある家族が「大
丈夫?」の問いかけにとどまら
ず、退職や転職の道を示すこと
が、働く人を救うのは家族です。
「何か幸せなのかい」と出さ
せる必要があると思う。全員の幸
せを考えたとき、周りの人々
と比べて見えてくるのではな
いだろうか。
過労死の原因は被害者側では
なくもちろん加害者側にある。



きょうの11分

筆をかき
見上げた時計は
二時を指す
明日はテスト
これパワーハラか

パワーハラの記事を
かきつつ、もはやこ
の宿題がパワーハラ級
だと思ってしまう。
しかし、それは違う。
何でもかんでも〇〇
ハラと呼ぶこの社会
に警鐘を鳴らした

労働川柳

飲み会に行く声後ろ
一人帰路
(東京都・40代)

入社して連絡のない
五か月目
(滋賀県・50代)

部下の首切らな玉切らな
俺の首
(東京都・50代)

増えゆくばかり
次は何ハラ
(愛媛県・30代)

裁量という名の裏の
蟻地獄
(茨城県・20代)

直通の相談窓口
急行線
(神奈川県・30代)

一句誘われない上司。二句頼の
心。三句、中間管理職の嘆息。
四句、パワハラメントにハラハラ。五句
撤回させない。六句、終点。上司
の目。支線。人事部行き。

編集後記
学習を通して一番変化があった考
えは、パワーハラは弱い人間ではなく、誰で
あろうと被害者にも加害者にもなり
得るということである。労働の現状を知
ることにより、国家的な労働問題の対
策はもうあるんだが、働く人の一番身近に
いる家族の精神的なサポートから一歩踏み込
んだ対応が、労働問題解決の一番の近
道だと感じた。
今私たちができることは、両親の声
を聞くこと、労働制度に関心を持つこ
との二つに尽きると考える。

はたらくことのリアルに迫る

3月6日
2年

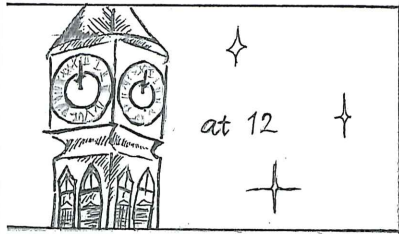
労働者 船の働かから見る 理想のワークスタイル

6	9	12	15	18 (時)
出社	クリティカルな作業	判断・判断作業	作業	退社

疲労した日本社会

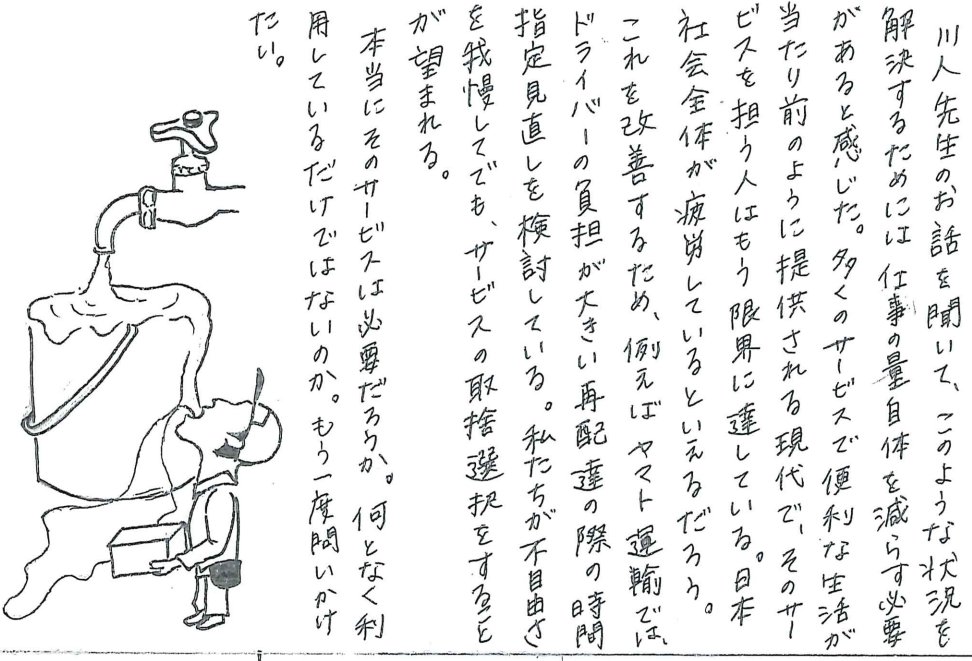
今、過労死が問題になっている。過労死を防ぐためには労働時間を削減する必要があり。先日、残業時間の上限規制についてのニュースが報じられた。政府は二〇一七年二月、日本で初めて残業時間の上限を「罰則付き」で法律に定める方針を示した。法律への明記は企業側にも労働者側にも長時間労働への問題意識を持たせるかもしれない。他にも、睡眠時間を確保するインターバル規制や、時間を取り入れている企業もある。プレミアムフライデーも話題になったばかりだが、しかし、それでも根本的な解決にはなっていないと思う。結局家での残業やサービス残業が増えているだけで、負担の大きさは何も変わらないからだ。

現代のシンデレラ



川人先生のお話を聞いて、このような状況があると感じた。多くのサービスで便利な生活が当たり前のように提供される現代で、そのサービスを担う人はもう限界に達している。日本社会全体が疲弊しているといえるだろう。これを改善するため、例えばヤマト運輸ではドライバーの負担が大きい再配達の際の時間を指定見直しを検討している。私たちが不自由さを我慢しても、サービスの取捨選択をすることが望まれる。

川人先生のお話を聞いて、このような状況があると感じた。多くのサービスで便利な生活が当たり前のように提供される現代で、そのサービスを担う人はもう限界に達している。日本社会全体が疲弊しているといえるだろう。これを改善するため、例えばヤマト運輸ではドライバーの負担が大きい再配達の際の時間を指定見直しを検討している。私たちが不自由さを我慢しても、サービスの取捨選択をすることが望まれる。



絶海の孤島で

「日本の会社は一般社会から隔絶された独特の共同体」対話集会でこの言葉が印象に残った。会社の枠の中では法律は機能しにくく、労働者はその中に閉じこめられて、逃げ道を見つけないでいる。この体制を変えなければならぬ。外に開かれ、社会と関わり合えば、労働者としての生き残る企業に変化する必要がある。このためには、企業側の取り組みだけでなく、社会全体の見直しが必要になるだろう。

「日本の会社は一般社会から隔絶された独特の共同体」対話集会でこの言葉が印象に残った。会社の枠の中では法律は機能しにくく、労働者はその中に閉じこめられて、逃げ道を見つけないでいる。この体制を変えなければならぬ。外に開かれ、社会と関わり合えば、労働者としての生き残る企業に変化する必要がある。このためには、企業側の取り組みだけでなく、社会全体の見直しが必要になるだろう。

これからのコミュニケーション
川人先生のお話集では、うつ病になってからの対策は難しい、うつ病になる前に仕事を断ち切ることも最も重要とおっしゃっていた。確かに不安定な精神状態では、正常な判断もできなくなるし、マイナス思考に陥り自分を追い詰めてしまいうことがあある。でも、今任された仕事を投げ出して、自分から逃げるといふことは、やはり将来や家族のことを考えたとき、難しいのではないだろうか。だからこそ、もし本当に危ない時に、うつ病になる前に止めることができるのは家族であったり仲間であったり周囲の人だと考える。誰かに話すだけでも気持ち軽くなる。カタルシス効果というものがあある。ちょっとしたコミュニケーションが過労死を防ぐ。携帯などインターネットが発達し、人と人との関係が薄れていることも問題を一人で抱えこんでしまいう原因になっているのではないか。

社会見学実習で私が訪れたNTTデータでは現代のコミュニケーションのあり方を学んだ。速くはいる人が同じ空間を共有することと同じ場所にいるように感じられたり、寝たきりのおばあさんが映像を通して孫の結婚式に参加できたたりする技術が発達しているという。これから求められるのは、人と人との繋がりをより豊かにするテクノロジーだと思ふ。これからの社会で、こうしたテクノロジーが人と人との結びつきを強め、労働者の心の支えとなることを期待する。

仕事帰りに
荷物受け取り
家の宅配ボックスに配達ポイントたまろ!!

大反響
ワークルールの知る本
残業一歩著 1000円(税別)

ワークルールの知らなければ企業対抗できません
ワケルルを知らなければ従業員を守れません。

悩みはありますか
〇△労働相談所
24時間受付
匿名で相談可
法律に沿った適切な労働を薦めます
転職、職場復帰サポート
秘密厳守

待望のトラマ化話題の本
会社、辞めます
カロー・ワウ著

かくかく企業に就職した
新人社員が、自分を
守るための決断をする
勇気をもつ大切さから一冊

参考文献
朝日新聞 3月4日 朝刊
「時間帯別にやるべき仕事」
http://business-improve.net/kouritsu/kajikan_taikeisu
Q&Aの答え

発行所 労働新聞社
東京本社 (03)3421-5151
〒154-0002 東京都世田谷区
下馬4丁目1-5
大阪本社 (06)5556-1234
〒105-8501 東京都港区
芝浦3丁目1-130
名古屋支社 (052)241-1300
〒460-0001 愛知県
名古屋市中区
大須4丁目1-1

敗訴した遺族 労災認定の難しさ

川人先生とのトウワセで、
次々とならぬ嘘の証言を
聞いた遺族はどんな気分
でいたろうか。同僚の
身勝手さに憤りを覚えた
また「行政は障害者の立場
に立つて考えることが個人
と違って行政には必要だ。
結果的に敗訴した人から
平気でこんな嘘をつけるの
が信じられない。嘘の証言
を聞いた遺族はどんな気分
でいたろうか。同僚の
身勝手さに憤りを覚えた
また「行政は障害者の立場
に立つて考えることが個人
と違って行政には必要だ。

生きているだけでもいい がんばらなくてもいい 勉強しなくてもいい

日付	労働時間	労働時間合計	時間外労働時間合計	合計
10月9日(金)	9:00~20:20	10:56	1:56	
10月10日(土)				
10月12日(月)		11:22	2:22	
10月13日(火)	8:48~24:39	15:51	6:51	
10月15日(木)				
10月16日(金)				
10月17日(土)				
10月18日(日)				
10月19日(月)				
10月20日(火)				
10月21日(水)				
10月22日(木)				
10月23日(金)				
10月24日(土)				
10月25日(日)				
10月26日(月)				
10月27日(火)				
10月28日(水)				
10月29日(木)				
10月30日(金)				
10月31日(土)				

過労死遺族の気持ちは？

埋まらぬ悲しみ 最愛の娘を亡くした母

二〇一五年十二月二十五日、高橋幸美さんは最愛の娘を過労死で亡くした。七か月の月前までの残業時間は、月105時間にも上った。ひどい残業、上司からのペナルティ。その日の朝の電話を最後にまつりさんは自分も命を絶った。

まつりさんは本当に親孝行の人だった。うだ。母子家庭ながら自分のお力で東大に合格、彼女の人生は「前途洋々」。母親思いでいつも、お母さん大好きとバグをしてくれた。そんな娘を失った幸美さんの悲しみは計り知れない。

過労死ゼロの社会をいつまつりさんの死によって書かれた本を読んで、本当に辛くなった。特に幸美さんばかりさんへの思いを書かれているところでは、過労死遺族の悲しみ、やるせなさ、がはしと伝わりくるようだった。

まつりの幸せが私の幸せでした。その幸せはずっと続けばいい。勉強しなくていい。がんばらなくていい。生きていてほしい。この言葉に私は震えた。ここに幸美さんの思いが詰まっているように

川人先生とのトウワセで、次々とならぬ嘘の証言を聞いた遺族はどんな気分でした。同僚の身勝手さに憤りを覚えた。また「行政は障害者の立場に立つて考えることが個人と違って行政には必要だ。」

まつりさんは七か月前、何度か幸美さんに仕事の手を相談していた。なぜ、我が子を救えなかったのか、自責の念に苦しむ日々。その苦しみは幸美さんにはわかっていない。

そんな中、幸美さんは過労死弁護士のスペシャリスト川人先生のもとを訪れた。間違ひなく労災認定、お母さんのせいではないと。間違ひなく労災認定、お母さんのせいではないと。間違ひなく労災認定、お母さんのせいではないと。

その後も、川人先生は、お母さんの苦しみを完全に理解することにはまだ時間がかかると。ただ理解しようとする努力は、遺族の方の苦しみ、無かった。けいこ遺族の方の苦しみ、無かった。けいこ遺族の方の苦しみ、無かった。

みんなのことば

夜の東京、22時
本当にきれいなビルの夜景
でもその景色を作るのは
残業に追われる大人たち
そんな景色を見るよりも
私は東京の星空がみたい
(東京都千代田区)

残業チェッカー

残業時間を知りたい！
見やすいグラフで
状況把握
労災認定に活用可
開発: Good Work Corp.

無料
iPhone版
Android版

最新情報満載!
川人先生に学ぶ
参考文庫 2018
過労死ゼロの社会を
高橋幸美川人著
二〇一五年二月二十六日
に行われた川人先生を
訪ねたトウワセ、シ

幹事のプロに 学ぶ禁断の 接待術

佐々木 大次郎

Amazon 1位

どんな宴会も成功させる!
上からのノウハウ、
どうやるのかわからない
の先にあるものは、
池沢常夫
それでも
なお残業

新 残業革命

今井 考者

わが日本に「人間讃歌の花園を」
歩む!
日の小さな残業がいつか必ず大道になる!
本は負けない!
辛い徹夜でも、必ず日は昇るから!

地位も、お金も、家族も、信頼も、
仕事も、愛も、交際も、居場所も、
味も、未来も、全て失ってしまった。
ただ、

部を叱った
だけなのに

過労死が蔓延する日本に警鐘を鳴らす!!!